

令和3年東京都女子柔道選手権大会（兼、令和3年全国女子柔道選手権大会 東京都予選会）要項

項目	内容
1. 主催	公益財団法人東京都柔道連盟
2. 後援	公益財団法人講道館・東京都・公益財団法人東京都体育協会・コマツ
3. 日時	令和3年10月31日（日） 開場 8時15分 開会式 9時30分
4. 会場	講道館 大道場 〒112-0003 文京区春日1-16-30 TEL 03-3818-4893（道場受付）
5. 参加資格	<p>(1) 日本国籍を有し、東京都に在住・在勤・在学の実体の伴ういずれかの条件を満たし、令和3年6月15日までに、全柔連登録を東京都より行った選手に限る。</p> <p>但し、今大会に限り、東京都以外の団体に所属している選手の中で、2020年度全柔連登録を東京都より行い、令和3年度の他地区実施予選会に出場していない場合は、上記に当てはまらなくても出場できる。</p> <p>(2) 令和3年10月31日現在、中学1年生以上であること。</p> <p><u>* 中学生の場合は、東京都中体連柔道競技部が推薦し、保護者の承諾書が提出された選手に限り、主催者が検討し決定する。</u></p> <p>(3) 他地区で出場した者、或いは、出場する予定の者は参加できない。</p>
6. 試合方法	トーナメント戦による。
7. 審判規定	<p>(1) 最新の国際柔道連盟試合審判規定および全日本柔道選手権大会申合せ事項にて行う。</p> <p>(2) 試合時間は4分間とする。</p> <p>試合時間内でスコアに差が無い場合はゴールデンスコアによる時間無制限の延長戦を行う。</p> <p>(3) スコアは「一本」「技あり」「有効」の3種類および「反則勝」とし、「技あり」が2つで合せ技「一本」とする。抑え込みの時間は20秒で「一本」、15秒以上で「技あり」、10秒以上で「有効」とする。</p> <p>(4) 罰則等その他については、国際柔道連盟試合審判規定(最新も含む)にて行う。</p> <p>※2020年4月1日適用罰則</p> <p>①意図的に自らまたは相手の柔道衣を帯から出す行為「指導」</p> <p>②故意に相手の足を踏みつけ投げる行為、相手の頭髪を掴んで技を掛ける行為は、共に1回目はノースコア・ノーペナルティで試合続行、2回目は故意であると判断した場合は「反則負」とする。</p>
8. 表彰	優勝者に都知事杯、及び、優勝者以下優秀選手を表彰する。
9. 出場権	<p>全日本女子柔道選手権大会への出場者</p> <p>上位入賞8名の選手は、令和3年12月25日（土）講道館で開催される全日本女子柔道選手権大会の東京都代表選手とする。ただし、本大会において、全日本への出場権を獲得し、以後の試合を正当なる理由無しに放棄した選手は、委員会（別設）に諮り出場権を取り消す。</p> <p><u>負傷による欠場の場合は医師の診断を必要とする。</u></p>
10. 申込方法	<p>(1) <u>申込締切 令和3年9月24日（金）必着</u></p> <p>(2) 申込方法 都柔連ホームページより所定の申込書をダウンロードし、メールに添付して提出</p> <p>申込み用アドレス：moshikomi@tojuren.or.jp</p> <p>(3) 参加費用 4,000円 ※支払方法：大会終了後、都柔連より請求書を発送、指定口座に振込み</p> <p>(4) 問合せ先（公財）東京都柔道連盟 月・水・金 03-3818-5639 / 火・木 080-3487-8054（担当：佐々木）</p>
11. 組合わせ	令和3年9月29日（水） 都柔連事務所において、主催者が行う
12. 保険	<p>(1) 主催者が参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行い、その費用を負担する。</p> <p>(2) 大会中の不慮の負傷等については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。</p> <p>(3) 大会当日、参加者は健康保険証を必ず持参すること。</p> <p>(4) 万一の事故の発生に備え、各自傷害保険に加入するなどして万全の事故対策をたてておくこと。</p>
13. 注意事項	<p>(1) 大会を欠場する選手は、必ず医師の診断書、または柔道整復師の証明書を主催者に提出することとし、無届での欠場の場合は、次年度の出場資格を失うものとする。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症に伴う陽性者・濃厚接触者が発生した場合の対応について</p> <p>① 試合日の14日前から前日までにチーム内で陽性者が発生した場合、14日間の活動休止期間にあたるため、そのチーム全員の出場を認めない。</p> <p>② 試合日の14日前から前日までに所属内で濃厚接触者と判断された選手がいる場合は、濃厚接触者も含め所属する選手が14日間の活動休止期間にあたるため出場を認めない。</p> <p>但し、当該濃厚接触者以外の選手については、試合前日までに当該濃厚接触者のPCR検査の結果が陰性と判明し、更に試合当日を含め健康記録表の各項目に問題のない場合に限り出場を認める。</p> <p>* ①②については「全柔連新型コロナウイルス感染症対策指針（Version 4）（21.8.6）」を引用</p> <p>なお、出場可否の判断については、全柔連発表の最新の指針に沿って行う。</p>

	(3)大会前後2週間以内に感染者が発生した場合は、主催者(都柔連)に対し、濃厚接触者の有無を含め速やかに報告を行うこと。報告がなく後日判明した場合は、次年度出場停止を含め罰則を検討する。
14. ゼッケン	(1)出場選手は、着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。 (2)所属名は、全日本柔道連盟に登録した団体名とする。 (3)ゼッケンを取付けていない選手は、出場できない。 (4)広告付きゼッケンは不可とする。
	<p>図1. ゼッケンの縫付方</p> <p>図2. ゼッケンの縫付位置</p> <p>① ..... の部分を縫い付ける ② 図2の位置に強い糸で縫い付ける ③ 名字(姓)は上側 2/3、所属名は下側 1/3 ④ ゼッケンは白地で書体は太いゴシック(楷書)で朱色 ⑤ サイズは横 30cm~35cm・縦 25cm~30cm</p>
16. その他	<p>1. 新型コロナウイルス感染症及び脳震盪について</p> <p>(1)新型コロナウイルス感染症に対する感染予防対策について</p> <p>①選手・監督をはじめ関係者全員に対し、大会当日2週間前からの健康記録表への記入を義務付ける。 ②当日受付にて検温を実施すると共に健康記録表の内容を確認する。 ③大会は無観客で実施する。 ④選手は試合時のみマスクを外すことができるが、その他関係者は常時マスクを着用すること。</p> <p>(2)脳震盪について</p> <p>ジュニア(20歳未満)以下の選手および指導者は、下記事項を遵守すること。</p> <p>①大会前1カ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の治療を受け、出場の許可を得ること。 ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。 なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。 ③練習の再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。 ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面にて事故報告書を提出すること。</p> <p>(3)新型コロナウイルス感染症及び脳震盪について、感染者・受傷者が発生した場合は、速やかに大会事務局に報告すること。</p> <p>2. 個人情報の取り扱いについて</p> <p>申込書記載事項は大会運営業務にのみ使用致します。なお、申込書の提出をもってプログラムへの記載、新聞・雑誌・ホームページ等に掲載される事を了承されたものとして取扱い致します。</p>